

学生の主体的学びを育み、 未来開拓力に優れた人材を育成

「自ら考え、意思決定し、
新しい価値を創造する人材」

明治大学では、「『個』を強くする大学」の教育理念のもと、2009年文部科学省「国際化拠点整備事業（グローバル30）」に採択され、グローバル人材育成を積極的に進めてきた。これらを基に計画した「世界へーMEIJU8000」学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成し、2014年秋、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」でグローバル化牽引型に採択された。

総合的教育改革により
主体的に学べる
グローバル環境へ

世界に飛び出す
100の国際プログラムを実施

グローバル人材育成を積極的に行う明治大学では、「スーパーグローバル大学創成支援」の採択を受け、国際化への取り組みを加速させている。大学の教育改革と徹底した国際化の展開を通じ、未来開拓力に優れた人材の育成を目指している。

年には卒業生の半数4000名は海外留学を経験することになり、その他の学生も外国人留学生との交流プログラムなど国内にいながら国際体験ができる多数のプログラムを活用することで、100%異文化体験できるグローバルキャンパスにする」と福宮学長は意気込みを語る。

2012年より進めてきた総合的教育改革を土台に、従来90分授業で展開してきた講義を、1モジュール50分×21100分の時間割に改編し、前半を講義後半をグループディスカッションやグループワークなどのアクティブ・ラーニングに充て、学生の主体的学びを促す授業展開へと改革していく。また、14週間の2学期制を基本に、7週間ごとに分割した4学期制も可能となる柔軟な学事暦を確立し、4年間のうち一部の学期に必修科目を配置せず、その学期と夏休みなどの休業期間を組み合わせるこ

とで、学生の主体的活動を可能とする「アクティブ・タイム」も整備していく。この期間を活用することで、長期の海外留学や海外インターンシップ、キャンパス内外での海外留学生や教員との交流もしやすくなり、グローバル推進の礎となる。

卒業生8000人の「未来開拓力」につなげるため、「主体的学びを確立する3つの仕組み」、「主体的学びを育むグローバル・キャンパス」を推進していく考えだ（図表を参照）。

明治大学の目指すスーパーグローバル大学とは、こうした主体的に学ぶ学生を育むことを意味し、「MEIJU8000」は毎年の卒業生8000名を「未来開拓力に優れた人材」として育てるという決意の表れでもある。大学の教育改革と徹底した国際化の展開を通じ、2020

この中の「世界に飛び出す100の国際プログラム」では、短期留学だけでなく、交換留学制度やジョイント・ディグリー制度などを含め、中・長期留学もより充実させ、学生が世界に飛び出すための100の扉を用意する。さらに経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援に採択されている政治経済学部が推進する、実践的英語力強化プログラムの全学への拡大のほか、英語で学ぶ国際教育プログラムにも力を注いでいく。



一步を踏み出す勇気を
くれた留学プログラム

商学部3年生の小端菜緒さんは、2週間の「フレンチファッション・プログラム」に参加した。フランス語の語学研修のほか、英語によるファッションの基礎講義を受けました。講師はファッション業界の第一線で活躍中の方ばかり。とても刺激的でした。多彩



インターンシップ留学で
身につけた行動力

世界に飛び出し、
目覚ましく成長した学生たち

な課外授業も魅力で、ラグジュアリーブランドの店舗訪問では売り場づくりの戦略を知るなど、商学部の視点で学べた。日本から出たくなかったと思っていた彼女の背中を押したのが、明治大学の留学プログラム。今後も自分らしく、挑戦する姿勢を大切にしたい」と話す。



留学経験がさらなる
留学への意欲を生んだ

経営学部2年生の荒川祐輔さんは、2週間の「アメリカ・ヴァーモント州国際ボランティアプログラム」に参加した。元受刑者の社会復帰支援活動では、再犯防止へのコミュニケーションという真摯な取り組みに感動しました。2週間の実習期間に彼の中で大きな変化が生まれた。現地の大学生との交流を通じて、自ら進んで発言する大切さを実感し、自分の意見を主張することが世界なのだと肌で感じました。帰国後留学への意欲が一層強くなり、今、彼はカナダへの長期留学プログラムへチャレンジを始めている。



多彩な留学プログラムの一例

ハワイ大学&ホスピタリティー関連企業インターンシップ留学

国際日本学部では、8か月間の留学+インターンシッププログラムを2015年度から開始。ハワイ大学マノア校でツーリズムを中心とした講義を受講後、JTBハワイ、日本航空ホノルル支店など現地のホスピタリティー関連企業でインターンシップを経験できる。



ロッテルダム応用科学大学、東フィンランド大学との交換留学プログラム

政治経済学部では、2015年からビジネス学や経済学を中心とした大学での学びと、現地企業でのインターンシップや株式会社設立体験を行う新しい交換留学プログラムを開始する。このプログラムは、欧州連合が実施する新しい教育助成プログラム「エラスムス・プラス」に採択されている。

ノースイースタン大学とテンブル大学とのダブル・デュアルディグリープログラム

政治経済学部では、2014年秋学期より、高い外国語能力と専門知識を備えたグローバル人材の育成を推進するため、明治大学の学士号とノースイースタン大学の学士号を4年間で取得できるダブルディグリープログラム、明治大学の学士号とテンブル大学の修士号を5年間で取得できるデュアルディグリープログラムを開始した。

01 留学の心配事を相談できる プロのカウンセラーを配置

明治大学では、学生の海外留学促進のため、全キャンパスで留学カウンセリングを実施している。留学準備における語学の不安をはじめ、さまざまな悩みに対し、プロの留学カウンセラーが相談に応じるといものだ。留学の動機づけから事前準備、さらに留学中・留学後のキャリア構築まで、学生に対する一貫したサポート体制を整え、グローバル時代の「強い『個』へ」、学生たちが勇気をもって世界へ歩を踏み出せるよう、応援している。

02 多くの学生の留学への挑戦を バックアップする助成金制度

明治大学には、協定留学や認定留学の制度を利用して留学する学生に対し、選考の上、助成金（明治大学外国留学奨励助成金）を支給する制度がある。返還の必要のない助成金で、期間に応じて30万円以内の奨学金を給付している。2009年度17名だった給付対象者が2014年度には約200名に増加し、給付総額でも10倍以上となった。学生の留学への意欲に応える支援体制が着実に整備され、多くの学生が海外留学のチャンスを手に入れている。今後さらにサポートを拡充していく考えだ。

次代を拓き、世界へ発信する大学

- 法学部 ●商学部 ●政治経済学部 ●文学部 ●理工学部 ●農学部 ●経営学部 ●情報コミュニケーション学部
- 国際日本学部 ●総合数理学部 ●大学院 ●法科大学院
- 専門職大学院（ガバナンス研究科／グローバル・ビジネス研究科／会計専門職研究科）
- 明治大学付属明治高等学校・明治中学校



お問い合わせ先
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
TEL: 03-3296-4545(代表) ● www.meiji.ac.jp

